

「萩市ひとつづくり推進計画（案）」に対するご意見の概要と市の考え方

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>「新しい時代を切り拓くひとつづくり」の実現のために、様々な事業が計画されていることに期待しています。計画を拝見する中で、学校教育や社会教育の分野を貫く考え方として、次の点が根底にあるとよいと感じました。</p> <p>新しい時代には、未来に向かって主体的に挑戦し続ける力や生涯にわたってその力を生かすことができる社会が求められています。</p> <p>しかし、それぞれの希望をかなえたり能力を発揮したりするためには、障害や性別、年齢などに左右されることのない、本人やまわりの意識の醸成が必要だと思えます。</p> <p>人権教育や特別支援教育、男女共同参画の考えが基本方針の中に視点として入っているとよいと感じました。（「協働」の中に「共生」が含まれているという考え方です。）</p>	<p>市としても、「新しい時代を切り拓くひとつづくり」の実現のためには、自他の様々な違いを理解し、多様性を認めようとする意識の醸成が非常に重要であると考えています。</p> <p>ひとつづくり構想において、「協働・人との関わりを大切にし、社会のために共に行動する人」を目指すひとの姿として掲げるとともに、自分とは異なる価値観を受け入れる広い心の醸成や、地域に暮らす人が相互に支え合う地域共生社会づくりの推進に取り組むことを定めています。</p> <p>本計画案では、構想に定めるこれらの方針を踏まえるとともに、成人期の現状と課題として「地域に住むひとりひとりが相互に支え合う地域共生社会の実現」を取り上げ、人権の尊重や男女共同参画等を包含する協働・共生の視点を持って、具体的な取組について定めています。青少年期の学校教育における人権教育の推進や特別支援教育の充実をはじめ、成人期の社会教育における協働による地域づくりの推進など、個別の項目において、具体的な取組を進めていくこととしています。</p>
2	<p>1 極小規模校の存続に対する手立てについて</p> <p>1) 萩市の方針として、どう考えておられるか？</p> <p>2) 休校（閉校）となった場合の地域の活性化対策をどう考えておられるか？</p>	<p>計画案へのご意見というよりも、本市学校教育の考え方に対するご意見であると受けとめています。</p> <p>人口減少・少子化の影響で、学校の小規模化が進んでいます。学校の存続については、地域・保護者の意向を大切にしていきたいと考えています。休校（閉校）になった場合の地域の活性化対策についても、地域の皆様と協議を重ねながら、地域にとってよりよい方向での活用が望ましいと考えています。</p>

No.	ご意見の概要	市の考え方
	<p>2 外遊び（遊び相手がいない）をはじめとして、体力の向上の日常的な取組が困難な学校への支援をどう考えておられるか？</p> <p>例：スポーツの専門の指導員の配置等</p>	<p>児童生徒の体力の向上については、計画案の青少年期の「小中学校における児童生徒の体力の向上」の項にあるとおり、市では、全ての学校で体力向上プログラムを作成し、これに沿って各校が組織的に取り組んでいるところです。体力の向上に係る学校への支援としては、今年度、山口県教育委員会が実施する「地域スポーツ指導者活用実践事業」を活用して、中学校への武道の専門家の派遣が実現しましたが、このような県の事業等を活用しながら、子どもの体力向上に係る取組の充実を図っていくこととしています。</p>
3	<p>児童生徒の英語教育の充実について、市教委独自で取り組んでおられるイングリッシュキャンプや海外語学研修は、参加者の英語のコミュニケーション能力向上や国際的な視野や異文化に対する理解、異なる文化を持つ人々と共に協調して生きていく態度等が身につく有効な取組です。市教委は、その成果を市全体で共有し、全児童生徒の英語力向上につなげてください。</p> <p>なお、全国学力・学習状況調査の状況（H31年度）の中学校正答率が、英語のみ55%で全国平均56%を下回っていますが、数字に惑わされることなく、市教委の取組を、信念をもって継続することで、萩市の児童生徒の英語力は必ず向上すると確信します。</p> <p>児童生徒に、国際的な視野や異文化に対する理解、異なる文化を持つ人々と共に協調して生きていく態度等を育成するためには、まずは自分の生まれ育った萩市の文化について理解し、自信を持って萩市について語る力の育成が必須です。</p> <p>市教委が目指す、志教育の推進と地域とともにある学校づくりで、「生まれ育った萩のことを様々な観点からしっかりと学び、地域社会の一員としてふるさとについて考え、地域と連携を深めなが</p>	<p>市では、英語によるコミュニケーション能力の向上や国際的な視野を養うこと等を目指し、イングリッシュキャンプや海外語学研修等の事業を実施しています。参加した児童生徒も高い意欲を持って活動し、その経験を自らの糧として、その後の学習等に取り組んでくれています。</p> <p>今後は、これらの取組について市内の児童生徒をはじめ、より多くの方々と共有できる機会を創出するなど、計画案に掲げる各事業がより充実した内容となるよう、取組を進めていきます。</p> <p>市では、これまで様々なふるさと学習を展開し、児童生徒が自分たちの暮らす萩市や地域について学び、また、地域の行事等へ参加することを通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、地域に貢献する子どもとなるよう努めてきました。</p> <p>生まれ育ったふるさとを様々な観点から学び、地域社会の一員としてふるさとについて考えることは、ふるさとへの誇りや愛着を育むだけでなく、子どもたち自身が自己を確立することに資する取組</p>

No.	ご意見の概要	市の考え方
	<p>ら、ふるさと萩を誇りとし、志を抱き、たくましく生きる子どもを育成」することは、将来、地元に着愛を持ちながらグローバルに活躍できる人材の育成につながります。萩市独自の志教育は、メディアなどでもたびたび取り上げられており、全国に誇れる特徴的な取組です。</p> <p>今後も継続することで、萩に誇りを持ち、将来大学進学や就職で萩市を離れても、行く先々で萩の魅力を、愛着を持って語れる素晴らしいセールスマンとなり、最終的には萩の発展に貢献できる人材を育成してください。</p>	<p>であり、将来、グローバル人材として活躍するための基礎づくりになるものと考えています。</p> <p>計画案の「志教育の推進と地域とともにある学校づくり」に記載のとおり、今後とも、地域の有する様々な資源を活用し、ふるさと学習を実施していくとともに、子どもたち自身が、地域の情報を発信するなど、地域と主体的に関わる活動を推進します。</p>
4	<p><b>【計画案19ページ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「児童クラブの学習ボランティアや小学校でのプログラミング教育への高校生の参画など」とあるが、高校生にとっても授業をはじめとする学習活動の一環となるような検討が必要であると思います。</li> <li>『萩の子どもは萩で育てる』ということに、幼保・小・中・高が一体となって取り組んでいかなければなりません。」とあるが、全編を通してこの考え方が貫かれており、非常に大切なことと感じました。</li> </ul> <p><b>【計画案23ページ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「中学校・高等学校部活動の連携」とあるが、高体連、高野連の（中高校生の合同練習等に関する）ルールを踏まえつつ、活動時間帯や活動場所など、しっかりと関係者による協議を行うことが大切であると思います。</li> </ul>	<p>中学生・高校生の交流や、高校生の小学校でのプログラミング教育への参画等に当たっては、市内高等学校、市立小中学校及び教育委員会が連携し、小中学生・高校生共に学びのある活動となるよう、事業内容の検討を行ってまいります。高等学校の魅力化に係る意見交換・協議の場等を活用し、中学生・高校生の交流事業やプログラミング教育への参画等の事業についても意見交換し、より良い内容としていきたいと考えています。</p> <p>また、「萩の子どもは萩で育てる」という意識のもと、引き続き、関係機関の連携を図りながら、各事業を推進します。</p> <p>市としても、関係団体等としっかり協議・情報交換し、中学校・高等学校の部活動の連携が、より良い形で図られるよう努め、子どもたちのスポーツニーズに応えることができる取組を進めたいと考えています。</p>

No.	ご意見の概要	市の考え方
	<p><b>【計画案2 4 ページ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「広報はぎ等による高校の情報発信の支援」とあるが、広報はぎにおける定期的な誌面の提供や自治会への回覧の中に学校だより等の情報も加えていただくと良いのではないかと思います。</li> <li>・「市内高等学校、市立中学校及び教育委員会が魅力化への方策を協議する場を設け、連携して市内高等学校への進学者確保に取り組む」とあるが、関係者がそれぞれWin-Winの関係になるよう十分な相互理解を踏まえて行うことが大切であると思います。</li> <li>・「高校生寮整備等の検討」とあるが、高校側と十分な協議を行うことが大切であると思います。</li> </ul>	<p>市内高等学校の魅力化への取組に関しましては、高等学校、市立中学校及び教育委員会が意見交換や協議を行う場を設け、魅力化への取組、情報発信の方法等について検討を行ってきました。</p> <p>これまで、広報はぎへの学校紹介記事の掲載のほか、萩図書館の空きスペース等を活用した情報コーナーの設置など、市内中学生をはじめ、市民の皆さんに向けた情報発信を実施してきましたが、ご提案いただいた回覧の活用など、新たな情報発信の方法についても検討し、市内高等学校への提案・実施支援を継続してまいります。</p> <p>また、その他の高校魅力化への支援についても、引き続き高校と十分に協議・意見交換を行い、相互理解を図りながら進めていきます。</p>
5	<p><b>【計画案2～7 ページ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「各分野の基本方針」の学校教育の「6つの項目」、社会教育の「三つの矢」、スポーツの「4つの観点」は、その後の項立てを踏まえると、学校教育は「6つの項目」、社会教育は「3つの観点（12の項目）」、スポーツは「4つの観点（7つの項目）」ではないかと思いました。</li> <li>・「スポーツ」と「各分野の取組と萩市ひとづくり構想」のつながりの部分は改ページされていません。「各分野の取組と萩市ひとづくり構想」の表が、「学校教育」「社会教育」「スポーツ」のすべてに関係する表なので、「学校教育」と「社会教育」、「社会教育」と「スポーツ」のつながりも同様に改ページをしないほうがわかりやすいのではないかと思います。</li> </ul>	<p>計画案のうち、社会教育に係る部分については、現行計画である「萩市生涯学習推進プラン」をもとに、同プラン策定後の萩市の状況等を勘案した中間見直しを行い、ひとづくり推進計画として取りまとめたものです。「三つの矢」は、当該プランにおいて、生涯学習の推進のために掲げた3つの基本的な方向で、推進計画でも当該名称を継続していたものです。</p> <p>今回の計画策定で、3計画を1つに集約したこと、また、内容の見直しを行い、計画の構成等も大きく変更したことから、計画全体の構造を分かりやすいものとするためには、各分野の推進項目を観点・項目として整理した方が、より適切な表現になると思われるので、ご意見のとおり修正いたします。</p> <p>なお、「1 はじめに」の章につきましては、計画全体の構造が分かりやすくなるよう、改ページの箇所も含め、見直しを行います。</p>

No.	ご意見の概要	市の考え方
	<p>【計画案13ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アイデンティティ」という語は、注釈を加えるか別の語に置き換えてはどうかと思いました。</li> </ul>	<p>ご意見のとおり、「アイデンティティ」という語は、意味の取りにくい用語ですので、計画の意図を正しく伝えるためにも、注釈か置換えが必要であると考えます。当該用語は、ひとつの構想においても使用している語であることから、別の語への置換えではなく、注釈の追加を行うことといたします。</p>
	<p>【計画案14ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校教育」の「教育体制の充実」について、一番はじめに児童生徒数の減少に伴う「複式指導の充実」が記されています。児童数の比較的多い小学校や中学校にしてみれば、直接関わりのない内容が最初に記されていることとなります。確かに「複式指導の充実」は極めて大切ですが、まずは「児童生徒一人ひとりを大切にした教育」の実現に向けた「小中連携や小中一貫教育の充実」を全ての学校において重視し、その中で規模の極めて小さい学校においては、それぞれの学校の特色を生かした「複式指導の充実」を図るべきだという流れの方がよいと考えますが、いかがでしょうか。</li> </ul>	<p>小中一貫教育の推進は、今後の本市学校教育の基盤になるものと考えており、全ての小・中学校において、その取組の充実を図っていくこととしています。一方、複式指導は、一部の学校に係る取組であることは、ご指摘のとおりです。</p> <p>また、計画案22ページの「施策の方向ごとの主な取組」において、「小中学校における教育体制の充実及び児童生徒の学力の向上」の項目として、「①小中一貫教育の推進」「③複式指導の充実」の順で掲載していることとの整合性も考慮し、ご提案いただいたご意見を参考に、見直しを行います。</p>